



岩室村の人口

(12月1日現在) 前月対比

男	4,233人	(+10)
女	4,824人	(+14)
計	9,057人	(+24)
世帯数	2,057世帯	(+14)

(住民基本台帳による)



発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K.K

No. 141

昭和49年実行目標 物を節約しよう

新年

おめでとういさいます

岩室村長 横山喜八郎



一九七四年の新春を迎え心から御祝を申しあげ、本年も村民各位と共に我が岩室村のよりよい年であるよう祈念いたすものであります。

一九七〇年代初頭より、よく内政の年代であり人間優先の時代であるといわれてまいりました。特に、日本の経済発展はめざましに伸張を成し遂げ、従って社会環境の変革をもたらした。私共家庭生活は、戦後二年八年間を経た今日、言語に絶する好形態をみ出したにもかかわらず、更に人間の欲望の極致を求めておることは周知のとおりであります。

然し、一昨年の世界の食糧事情の急変と、日本の将来のエネルギー想定は思わぬ経済分野を生み、昨年中東戦争の余波は日本を含めた世界的石油エネルギーの不足を来したし、将に激動の年といわれるに足る社会経

済の大波乱を余儀なくされたのであります。

最近の新聞マスコミ報道は、常に政治を追及し、国会は政府攻撃のみに専念の感多分にあり、唯一人として現状に於ける実態を探究しようとする現在の社会状況に、私はむしろ憤りを感ずるものであります。

私共の生活環境は、常に人間生活上、好条件下でなければならぬが、永い歴史の過程には幾多の変遷があり、今日までに創造された環境の分析も必要であります。

敗戦によって、好むと好まざるとに与えられた民主主義は、真の民主主義への定着なくして個人的自由主義を謳歌し河等の統制、強制的な自由主義が日本全土に満溢しており、常に国民一人一人の権利のみが先行され、人間の道徳は地に落ちつつある今日の日本は、殊に外国に人を見せたいと云います。

然し、私共は、現状の日を憂へ、憂国の至情と申せば大袈裟であろうけれども最近の日本経済が、将に混乱の域にある渦中を識り、

国民一人一人が、憂国の至情を叶露され村民一人一人が憂村の至情を憂ふこと、己み難き心も必要であるからうかと思ふのであります。

よくいわれますけれども世界を展望した時、イデオロギーの差異は多分にあるが、祖国を愛し、常に国家に忠誠を誓う国民でなければならぬのに、果して現状の日本はどうであろうか？戦後に於ける民主教育は稍々もすれば、何か一つ足りない教育でなかつたか？大きな疑問をもたざるを得ないのであります。

擬て、昭和四十九年の岩室村の実行目標を「物を節約しよう」と決定いたしました。

最近の経済情勢を憂慮し消費時代であるとは申せ、私共身近な生活環境を、思い切つて改善して、人間生活本来の実を挙げ、人間生活のうえにあり、

仮令ば、石油の問題にしても、中東戦争のおおりと云い、世界の消費需要が大急激に増し産業の分野に大きな比重を占めており、いづれは石油資源の枯渇も叫ばれている現状を把握し、併せて高度成長による、生活が豊かになりつつある現状を人間的に、お互がしみじみと考えることも時機を得た方策であります。

又、諸施策については、昭和四十九年度の農林省指定の自然休養村事業は、第二年度を迎え、管理棟の建設を見込み、東西保育所の統合建設事業、将又、四十四年度より打出して来た、村道改良事業の改修舗装工事、及び水道拡張事業の第三年度完工等、超大型予算を必要とする諸懸案事業等々が控えております。然も世は徐々にエネルギー資源不足、物価高の抑制による財政投資の緊縮政策を要するを得ない、現状の社会経済情勢の中にあつて猶も岩室村の時代の向上を期すに於ける諸対策を固らねばならないのであります。特に岩室村は過去農村観光の旗を掲げてまいり、其の第二期の始動として今春越後七浦シーサイドラインの開通は稍々もすれば後退を憂慮される岩室社会に、一光の光明が灯される事は、本村発展飛躍の為に大きな意義をもつものであります。従つて私共に与えられた天命の試練である幾多社会の使命を認識して、村民皆さんの負託に応えるべく最大の努力を傾注するものでありますので、何分の御理解と御協力を希うものであります。

最後に各位の御健勝を念じ、又難村されて異郷に御活躍の皆さん方、より良き新年であるよう念ずると共に、私共が最も親愛する郷土岩室村の繁栄を祈り、年頭の御挨拶といたします。

- 当初からの
実行目標
- 昭和四十四年
 - 時間を守ろう
 - 昭和四十五年
 - 明朗にして親切
 - 昭和四十六年
 - 体を鍛えよう
 - 昭和四十七年
 - 緑を育てよう
 - 昭和四十八年
 - 飲酒運転をやめよう

飲酒運転をやめよう